



地すべり現場 LN-100活用事例

法面崩壊を防ぐため、アンカーを一定の間隔で設置



トータルステーションでは、2人で、1回1回測りながらズレ量をプリズム側に伝えるので、時間がかかる。。

人手が足りない。。計測日程を合わせなければならない。。

測量機を扱える人が少ない。。

杭ナビならこんなに簡単に設置！



X=1.500 m, Y=3.000 m, H=1.120 m

アンカー設置場所までの離れが直ぐわかる！

基準軸(原点と基準軸)測定

で基準軸を作る。(図では法面が基準)



アンカー中心は、間隔が一定で、離れも決まっている。Yの離れをリアルタイムに把握しながら設置できる。



ワンマン観測で、すぐ現場に行ける！

道路沿いの法面老朽化、防災などのインフラ整備が急務の中、このような現場は加速傾向！！